

教育 事務所	地区	市町 村数	パトロール 対象箇所数	管内計	パトロール 実施件数 (年2回)
県中	岩瀬	5	26	104	208
	石川	5	25		
	田村	7	26		
県南	西白河	7	29	56	112
	東白河	5	27		
会津	北会津	4	23	121	242
	両沼	5	22		
	耶麻西部	4	25		
	耶麻北部	4	27		
	耶麻東部	4	24		
南会津	南会西部	4	16	33	66
	南会東部	3	17		
相双	相双北部	4	21	67	134
	相双中部	3	24		
	相双南部	7	22		
いわき	いわき北部	1	26	49	98
	いわき南部		23		
計	21	90	502	502	1,004

② 文化財保護指導者講習会

ア 趣 旨

文化財に関する知識の普及と愛護精神の涵養を図るため、文化財の保護について指導的立場にある関係者に対し、文化財に関する専門的事項について講習を行い、市町村における文化財保護行政の進展に資する。

イ 期日及び場所

平成元年7月27日～28日 郡山市労働福祉会館

ウ 講義内容及び講師

「県指定史跡嶋山城跡の指定とその後の管理・公開に

ついて」

田島町教育委員会 社会教育係長 佐藤 高慶

「歴史民俗博物館の理念について」

国立歴史民俗博物館教授 福島県文化財保護審議会委員 岡田 茂弘

「県内出土の中国陶磁器について」

福島県立博物館 副主任学芸員 伊藤 正義

「彫刻・絵画等の取り扱いについて」

福島県立博物館 主任学芸員 若林 繁

「歴史的建造物に思う」

日本大学工学部助教授 郡山市文化財保護審議会委員 猪野 勝重

「県内の製鉄関係遺跡の調査について」

財福島県文化センター遺跡調査課 文化財主査 寺島 文隆

エ 現地研修

如法寺、館の腰城跡

2 文化財保存調査の推進

① 民俗文化財調査（民俗芸能緊急調査）

都市化の進展等により、民俗芸能は急速に衰退し、その内容が変容し、中断又は廃絶しつつあるものが多い。本調査は平成元年度から2年連続で調査を行い、その結果を報告書としてとりまとめるものであるが、元年度は、県下の民俗文化の悉皆調査並びに詳細調査を実施した。

② 文化財調査（貝塚詳細分布調査）

貝塚は、縄文時代等の社会や文化を知る上で極めて重要な遺跡であるが、近年の開発行為によって急速に消滅しつつある。本調査は、これらの悉皆調査と既調査資料の収集を行い、今後の保護策を講じるための基礎的資料を整備しようとするものである。平成元年度から2年連続で調査を行うが、元年度は、県下全貝塚の所在確認調査を実施した。

③ 文化財指定調査

歴史的、学術的価値を有する文化財の中から重要なものを選定し、指定のための調査を行った。

県文化財保護審議会の答申に基づき、平成2年3月23日付けをもって指定等を行った文化財は次のとおりである。

県指定文化財指定一覧表

種別	名 称	員 数	所 在 地	所 有 者
重要文化財	彫刻	1 軀	福島市小倉寺字捨石7番地	大蔵寺
	彫刻	3 軀	伊達郡桑折町新町43番地	宝積寺
	考古資料	一括	安達郡本宮町字南町裡130番地 本宮町歴史民俗資料館内	本宮町
	歴史資料	一双	福島市春日町5番54号福島県文化センター内	安齋リウ
重要有形民俗文化財	旧修験榊原家所蔵修験資料	225点	耶麻郡猪苗代町大字八幡字小原101	榊原源隆
史 跡	長沼南古館		岩瀬郡長沼町大字江花589番地2-7	長沼町